

**令和2年度
宮崎県職員採用試験【大学卒業程度（機械）】**

専門論文試験課題

<課題>

宮崎県では、『宮崎県再生可能エネルギー等導入推進計画』を令和元年6月に策定し、基本目標として「再生可能エネルギーによる持続的な社会の構築」を掲げました。

また、基本方針として、

- 本県の地域特性を生かしてエネルギーを生み出す「創エネ」の定着
- 継続して実施する必要がある「省エネ」の定着
- 地域の実情に応じた景観への配慮等を行う「将来にわたり持続可能な社会」を実現するための体制構築に取り組むこととしています。

なお、この計画で対象とするエネルギーは、

発電分野：太陽光発電、風力発電、バイオマス発電、小水力発電(1,000kW以下)、
地熱発電（バイナリ方式に限る。）、大規模水力発電、地熱発電、海洋エネルギー

熱利用分野：太陽熱利用、温度差熱利用、バイオマス熱利用、雪氷熱利用、バイオマス燃料製造

革新的なエネルギー高度利用技術：クリーンエネルギー自動車、天然ガスコージェネレーション、燃料電池等

としています。

そこで、これらのエネルギーの中から1つ以上を選び、本県において導入するメリットや効果、導入に当たっての課題、導入実現のための方策等について、機械技術者としてのあなたの考えを述べなさい。